

《共通基礎科目 英語科目》

科目名	英語				
担当者氏名	アレックス 林				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期

《授業の概要》

小学校、中学校で活用できる内容、実際に教えるためのPracticeを取り入れた広義のKids Englishを指導の柱の一つとする。リスニング、スピーキング等の総合的なPracticeを行うため、授業への積極的な参加が望まれる。英語と日本語の異言語間の発想の違いを発見し、コミュニケーションにおける文化背景、文化の働きに対する理解を深める指導を行う。実際の現場で英語での基礎的な英語授業が行えることを目指す。

《授業の到達目標》

基礎的な英語コミュニケーションがとれる。英語スピーチに慣れる。  
英語で話し、さらに基礎的な英語を教えうる資質を作る。  
英語を話す力をつける。

《成績評価の方法》

授業時の発表等の参加姿勢、提出物の内容（課題をどれだけこなしているか）により総合的に評価する。  
平常点（毎授業時の課題への取り組み+発表等）50%、提出物（期末テスト含）50%

《テキスト》

（春・秋共通）：Alex Hayashi 著 「Let ' s Cross Culture! 」  
朝日カルチャー出版

《参考図書》

和田勝明、山本元子「小学校で英語を教えるあなたへ」明治図書

《授業時間外学習》

- ・テキストの予習・復習  
CDを聞いて、わからない単語は意味や読みを調べておくこと
- ・さらに進んだプレゼンテーションを実践練習するので、講義終了後、なんども準備、リハーサルをして講義に向かうこと。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	クラス概要紹介	Class rules and requirements
2	発音クリニック 発展(母音)	Advanced Pronunciation Clinic (Vowel Sounds): Unit 8 (Let ' s Cross Culture!)
3	発音クリニック発展(子音)	Advanced Pronunciation Clinic (Consonant Sounds): Unit 9 (Let ' s Cross Culture!)
4	発音クリニック発展(実践トレーニング)	Advanced Pronunciation Clinic (Practice & Challenge): Unit10(Let ' s Cross Culture!)
5	スピーチ実践発展(速さ、力強さ)	Speech Practice (Speed, Power): Unit11(Let ' s Cross Culture!)
6	スピーチ実践発展(オクターブ、抑揚)	Advanced Speech Practice (Octave, Intonation): Unit12(Let ' s Cross Culture!)
7	スピーチ実践発展(息継ぎ、読み)	Advanced Speech Practice (Breath, Reading): Unit13(Let ' s Cross Culture!)
8	子ども英語発展(単語)	Advanced Kids English (1) Part (Lesson 1-2)
9	子ども英語発展(基本敵な文章・1)	Advanced Kids English (2) Part (Lesson 3-4)
10	子ども英語発展(基本敵な文章・2)	Advanced Kids English (3) Part (Lesson 5-6)
11	子ども英語発展(基本敵な文章・3)	Advanced Kids English (4) Part (Lesson 7-8)
12	子ども英語発展(ティーチング・メソッド)	Advanced Kids English (5) Part (Lesson 9-10)
13	プレゼンテーション作成	Advanced Presentation Part (Lesson 10-11)
14	プレゼンテーション発表	Advanced Presentation Part (Lesson 11-12)
15	テスト、プレゼンテーション	Presentation(Challenge)+Test